

HOTLINE 2016

平成28年9月末 経営情報開示資料



南信州獅子舞フェスティバル



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫

飯田信用金庫と 地域社会

当金庫は飯田下伊那を営業区域として金融サービスを提供しており、地域のみなさまからお預けいただいたご預金は、地元企業の事業活動のための資金や当地域にお住まいの方が住宅や自動車をご購入される際の資金などへのご融資としてご利用いただいております。

また、飯田下伊那に24店舗と25カ所のキャッシュコーナーを置いてみなさまのお近くでさまざまな機能サービスを提供しており、金融機能の提供にとどまらず企業経営・人材育成・文化活動などを支援しているほか環境に対しても積極的な取り組みを行っております。

- 経営支援・人材育成支援**
 - 各種相談業務
 - 経済講演会の開催
 - 経営者育成支援
 - ビジネスマッチング・サービス
 - 地域シンクタンクとの連携
 - M&A情報の提供
 - 経営情報の提供
 - インターンシップの受け入れ
- 文化・交流支援**
 - メセナ活動
 - 地域文化の情報発信
 - ロビー展
 - 年金友の会、各店親睦団体・ゴルフ会などのサークル活動
- 環境への取り組み**
 - ISO14001の認証取得
 - 金融を通じての環境改善活動
 - 地域行事への参加 など

- 内国為替・外国為替・証券業務
- 保険窓口販売業務
- エレクトロニックバンキング
- その他各種サービス

お客さまからお預かりしたご預金は地域の個人のお客さまや地元事業者の方々のさまざまな資金需要にお応えし、貸出金としてお使いいただいております。

(注2)
預金の残高に対する貸出金の残高の割合を預貸率といいます。

貸出金

2,319億円
預貸率 44.6%
(注2)

その他の資金運用

有価証券 3,224億円
預け金 451億円

各種金融サービス

地域貢献

地域をなにより大切に考え、ともに歩み続けます。

お客さま/会員

(注1)
会員数：27,844人
(総代数：120人)

(注1)
飯田信用金庫の出資をお持ちいただいた方が会員となります。

飯田信用金庫

役職員数：339人
店舗数：24店舗
(平成28年9月末現在)

出資金

10億円

預金・積金

5,190億円

地域のみなさまからお預けいただいたご預金の内、およそ8割は個人の方からのものであり、地元企業の事業活動のための資金や、当地域にお住まいの方が住宅や自動車を購入される際の資金などへ、貸出金としてご利用いただいております。

■各種計数は平成28年9月末の実績によります。なお、仮決算のため計数等につきましては監査法人の監査を受けておりません。また、単体の実績となります。
■記載の計数は単位未満を切り捨てて表示しております。



理事長

森山和幸

ごあいさつ

平素は私ども飯田信用金庫をご愛顧たまわり、誠にありがとうございます。心より厚くお礼申し上げます。

みなさまがたに平成28年度上半期の業績をご理解いただくために、経営情報開示資料を作成しました。本冊子をご高覧いただき、当金庫の現状の姿をご賢察いただければ幸いです。

今後も飯田信用金庫は、地域社会発展のために努力していく所存でございますので、みなさまがたには、今後とも変わらぬご愛顧をたまわりますようお願い申し上げます。

中小企業の経営改善に向けた支援活動

当金庫は、協同組織の地域金融機関として、お取引先のみなさまの支援活動を通じて地域経済の活性化に寄与することに努めています。

平成28年度上半期には、「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」公募申請先に対する個別相談会を開催し、お客さまの申請内容に沿ったアドバイスをさせていただくことにより10件の事業者が採択されました。

また、平成26年度より開始した製造業及び商業・サービス業の専門アドバイザー2名による経営相談を更に充実させ、専門家派遣と併せお客さまの経営上のお悩みに対応した継続的支援を行っております。

平成28年度 上半期トピックス〈平成28年4月～9月〉

◎「新入社員研修会」の開催

平成28年4月7日(木)

当金庫、飯田しんきんビジネスクラブ主催で、社員研修専門講師をお迎えして開催しました。23社から54名の新入社員が研修に参加しました。

◎「全店統一後援団体企画旅行」 平成28年4月、5月

第6回となる全店統一企画後援団体旅行を実施いたしました。「越中おわら風の盆」貸切鑑賞と「ほたるいか」を堪能する1泊2日の旅行に、800名のみなさまにご参加いただきました。

◎県民球団グランセローズ応援イベントの開催

平成28年5月5日(木)

少年野球喬木大会において、合計520枚の入場券を進呈し、5月8日(日)、7月18日(月)の飯田開催試合の応援をお願いしました。

◎「経済講演会」池上彰氏を講師に開催

平成28年6月6日(月)

「どうなる!これからの世界と日本」をテーマに、ジャーナリスト池上彰氏を講師に迎え、飯田文化会館を会場に開催しました。1,000名を超えるみなさまにご参加いただきました。



◎「ものづくり補助金」10件が採択

平成28年6月6日発表、平成27年度補正1次公募に当金庫認定支援確認先10件が採択されました。セミナー、個別相談に加え採択者対象交付申請説明会に当金庫担当者が同席参加するなど伴走支援を行っています。

◎「未来応援定期預金^{かい}「結」の発売

平成28年6月13日(月)～8月31日(水)

特別金利の定期預金を発売いたしました。おかげさまで、期間中104億円お預入れいただきました。

◎第16回ホームタウンコンサートの開催

平成28年7月24日(日)

飯田下伊那地域のみなさまに一流の室内楽を聴く機会を提供するため、今年で16回目を迎えるホームタウンコンサートを開催し、ご好評をいただきました。

◎しんきん「相続・遺言セミナー」の開催

平成28年8月26日(金)

上手な相続のための準備・解決方法、保険・資産運用を活用した相続対策について、セミナーを開催しました。33名のみなさまにご参加いただきました。

◎信州ブレイブウォリアーズの地域貢献活動への協賛

平成28年9月10日(土)

プロバスケットBリーグ「信州ブレイブウォリアーズ」が飯伊地区の小中学生に技術指導を行う地域貢献活動「バスケットボールクリニック」とプレシーズン飯田大会に協賛しました。

◎「焼肉ロックフェス2016in南信州・飯田」への協賛とボランティア参加

平成28年9月18日(日)

飯田の若者の熱い思いから今回2回目の開催となった当イベントに、当金庫も協賛しました。また当日は職員36名がボランティアスタッフとして参加しました。

預金・貸出金の状況

預金は、個人預金、法人預金ともに堅調に推移し、平成28年3月末比108億55百万円増加し、5,190億24百万円となりました。また、前年同月末比では、92億20百万円の増加でした。

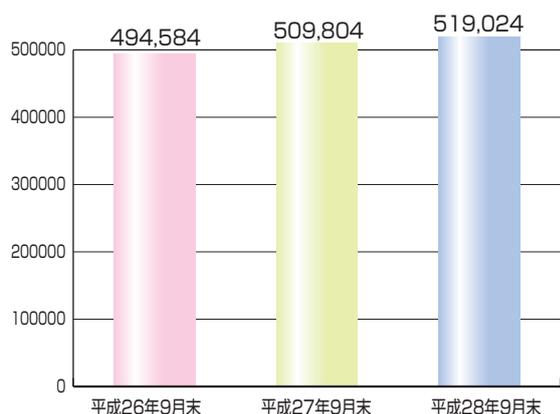
貸出金は、平成28年3月末比27億88百万円減少し、2,319億32百万円となりました。全体として減少したものの、住宅資金需要により個人融資が堅調に推移し、前年同月末比では67億35百万円の増加となっております。

(単位：百万円、%)

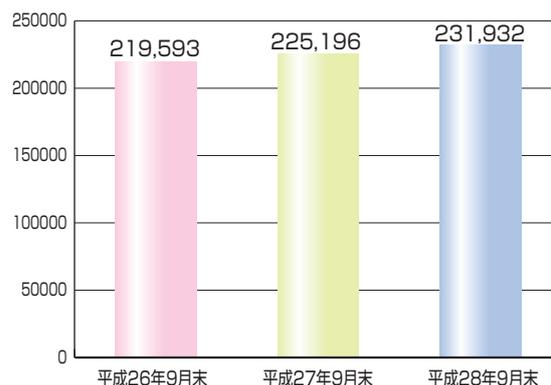
	平成28年3月末	平成28年9月末	増減額	増減率
預 金	508,168	519,024	10,855	2.13
貸 出 金	234,721	231,932	△ 2,788	△ 1.18

(注) 各期末とも譲渡性預金残高はありません。

預金残高の推移 (単位:百万円)

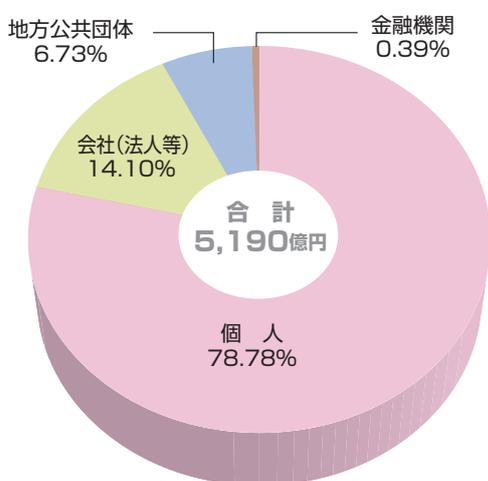


貸出金残高の推移 (単位:百万円)



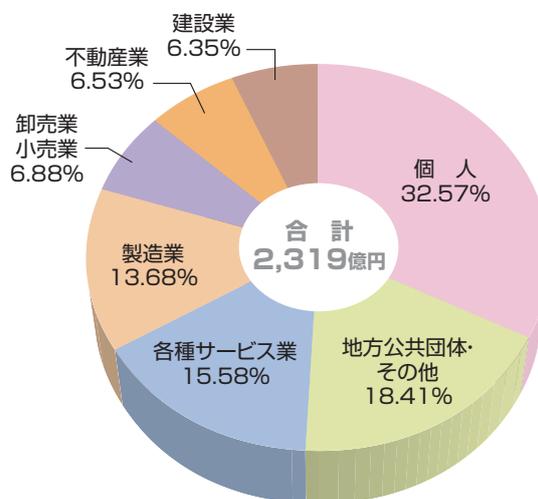
預金者別構成比

平成28年9月末



貸出先別構成比

平成28年9月末



(注) 残高には当座貸越を含みます。

損益の状況

貸出金利回り低下に伴う貸出金利息収入の減少や、有価証券利回り低下に伴う有価証券利息の減少により、業務純益は前年同期比4億80百万円減少の18億17百万円となりました。一方、個別貸倒引当金繰入額は前期比で大きく減少したことから、経常利益は4億12百万円増加の18億19百万円、当期純利益は5億98百万円増加の12億91百万円となりました。

(単位：百万円)

	平成27年9月末	平成28年9月末
業務純益	2,298	1,817
実質業務純益	2,450	2,051
コア業務純益	2,658	2,101
経常利益	1,406	1,819
当期純利益	692	1,291

(注) 1.【実質業務純益】 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額

2.【コア業務純益】 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 債券売却等にかかる損益

金融再生法開示債権

平成28年9月末の金融再生法上の不良債権額は、平成28年3月末に比べ「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」で13百万円減少、「危険債権」で8億25百万円減少、「要管理債権」で1億94百万円増加した結果、合計で6億44百万円減少し、234億11百万円となりました。総与信残高についても、30億84百万円減少しました。これにより、不良債権比率は平成28年3月末より0.14ポイント減少し、9.99%となっております。

(単位：百万円、%、ポイント)

区 分	平成28年3月末		平成28年9月末		増 減	
	残 高	構成比	残 高	構成比	残 高	構成比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,706	3.24	7,693	3.28	△ 13	0.03
危 険 債 権	15,503	6.53	14,678	6.26	△ 825	△ 0.26
要 管 理 債 権	845	0.35	1,040	0.44	194	0.08
金融再生法上の不良債権 合計	24,055	10.13	23,411	9.99	△ 644	△ 0.14
正 常 債 権	213,287	89.86	210,847	90.00	△ 2,440	0.14
総 与 信 残 高	237,343	100.00	234,259	100.00	△ 3,084	0.00

部分直接償却…実施しておりません。 【総与信残高】 = 貸出金 + 債務保証 + 未収利息 + 貸付関連仮払金

(注) 1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

3.「要管理債権」とは、「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

4.「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

有価証券の時価情報

平成28年度上期の有価証券運用は、国債と外国証券を中心とした債券を購入したほか、主に国内外の債券へ投資する投資信託の購入も進め、有価証券残高は平成28年3月末比で71億76百万円増加して3,224億6百万円となりました。

市場環境では、日経平均株価は上下に大きく変動、金利は一時大きく低下しましたが、9月末には3月末とほぼ同じ水準に戻りました。一方、為替は徐々に円高が進行し、対米ドルでは10円超の円高となりました。

この結果、主に株式および投資信託の評価益が減少したことから、有価証券全体の評価益は平成28年3月末比で10億84百万円減少して、313億8百万円となりました。

時価のある有価証券

(単位：百万円)

保有目的(種類)	平成28年3月末					平成28年9月末				
	帳簿価額	時 価	評価差額	うち益	うち損	帳簿価額	時 価	評価差額	うち益	うち損
売買目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他有価証券	282,738	315,131	32,393	34,239	1,845	290,975	322,283	31,308	33,508	2,200
うち 株式	7,496	9,417	1,920	2,256	335	7,812	9,179	1,367	1,715	348
うち 債券	242,164	269,117	26,952	27,817	864	248,600	276,272	27,671	28,409	737
国 債	100,154	120,020	19,865	19,866	-	103,585	123,725	20,139	20,237	97
地 方 債	9,825	10,867	1,041	1,041	-	9,822	10,871	1,048	1,048	-
社 債	105,217	110,667	5,449	5,684	235	105,708	111,241	5,533	5,784	251
外国証券	26,966	27,562	595	1,224	628	29,484	30,434	949	1,339	389
うち 投資信託	32,438	35,882	3,443	4,088	645	33,923	36,094	2,170	3,284	1,113
うち その他	638	714	76	76	-	638	736	98	98	-
合 計	282,738	315,131	32,393	34,239	1,845	290,975	322,283	31,308	33,508	2,200

(注) 平成28年9月末の「評価差額」及び「含み損益」は、平成28年9月末時点の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位：百万円)

	平成28年3月末 帳簿価額	平成28年9月末 帳簿価額
子会社・子法人等株式	24	24
非 上 場 株 式	41	41
そ の 他 の 証 券	33	56
合 計	99	123

自己資本の充実の状況

当期純利益12億91百万円を計上したことなどから、分子である自己資本額は平成28年3月末比3.13%増加し516億61百万円となりました。一方、預金の堅調な推移に伴い総資産額は2.08%増加しましたが、貸出金の残高が減少したことなどから、分母であるリスク・アセットは1.03%の増加にとどまりました。この結果、平成28年9月末の自己資本比率は、平成28年3月末の16.81%から0.35ポイント上昇し17.16%となりました。

当金庫の自己資本比率は国内基準の4倍以上となっており、強固な体質を維持しております。

自己資本の構成に関する開示事項 <単体>

(単位：百万円)

項 目	平成28年3月末	平成28年9月末
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	49,197	50,489
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,092	1,092
うち、利益剰余金の額	48,159	49,396
うち、外部流出予定額 (△)	54	-
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,168	1,402
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	1,168	1,402
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	50,366	51,891
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	275	230
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	275	230
自己資本		
自己資本の額 ((イ) - (ロ)) (ハ)	50,090	51,661
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	277,750	280,822
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 46,819	△ 41,656
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 46,819	△ 41,656
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	20,179	20,179
信用リスク・アセット調整額	-	-
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-	-
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	297,929	301,001
自己資本比率		
自己資本比率 ((ハ) / (ニ))	16.81%	17.16%

(注) 経過措置による不算入額はありません。

定量的な開示事項

自己資本の充実度に関する事項 <単体>

(単位：百万円)

	平成28年3月末		平成28年9月末	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本の額の合計	277,750	11,110	280,822	11,232
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	324,569	12,982	322,478	12,899
②証券化エクスポージャー	-	-	-	-
③複数の資産を裏付とする資産(所謂ファンド)のうち、個々の資産の把握が困難な資産	-	-	-	-
④経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	-	-	-	-
⑤他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	△ 46,819	△ 1,872	△ 41,656	△ 1,666
⑥CVAリスク相当額を8%で除して得た額	-	-	-	-
⑦中央清算機関関連エクスポージャー	-	-	-	-
ロ. オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	20,179	807	20,179	807
ハ. 単体総所要自己資本額 (イ+ロ)	297,929	11,917	301,001	12,040

(注) 1. 所要自己資本の額 = リスク・アセット × 4%

2. 「エクスポージャー」とは、資産（派生商品取引によるものを除く）並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額等のことです。

3. 当金庫は、基礎的手法によりオペレーショナル・リスク相当額を算定しています。

$\text{〈オペレーショナル・リスク相当額（基礎的手法）の算定方法〉} = \frac{\text{粗利益（直近3年間のうち正の値の合計額）} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}}$

4. 単体総所要自己資本額 = 単体自己資本比率の分母の額 × 4%



HOTLINE 2016



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫

〒395-8611 長野県飯田市本町一丁目2番地
TEL. 0265(22)4321

ホームページ <http://www.iidashinkin.co.jp/>



表紙写真:

南信州獅子舞フェスティバル

伝統芸能の宝庫、南信州。中でも当地独特の“屋台獅子”は、地域ごとに様々な形で継承されてきました。そうした獅子舞が競演する「南信州獅子舞フェスティバル」は今年で9回を数え、南信州の新たな秋の風物詩として定着しています。秋の青空の下、雄大な獅子舞の演舞と体に響くお囃子に酔いしれるひと時です。

しんきんは、環境に優しい取り組みを地元のみならずともに行っています。

再生紙を
使用しています

